

第29回九州地区日本小動物獣医学会卒後研修会
令和6年度日本獣医麻酔外科学会九州地区講習会
開催要領

1. 日時: 令和6年6月30日(日) 9:30 ~ 16:30
2. 場所: 沖縄県市町村自治会館
(〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37
那覇空港からモノレールにて旭橋駅下車徒歩5分)
3. 主催: 九州地区日本小動物獣医学会
日本獣医麻酔外科学会(担当: 沖縄県)



沖縄県市町村自治会館へのアクセス

6/29,30はモノレールが整備のため運行休止
ですのでご注意ください。代行バスが運行され
ますが渋滞などが予測されます。

4. 内容とタイムスケジュール
9:20~ 9:30: 開会式
9:30~ 12:00: 症例検討会
12:00~ 13:00: 昼食
13:00~ 13:10: 優秀発表演題への坂本紘賞授与式
13:15~ 16:30: 教育講演
第1会場: 「切るのか? 切らぬのか? -画像を中心に考える-

講師: 栗原 学 先生(米国獣医画像診断専門医)

第2会場: 「救急エコーの臨床への落とし込みとショックの総復習(仮)」

講師: 森田 肇 先生(日本小動物医療センター夜間救急診療科科長)

5. 症例検討会演題順

第1会場

午前の部(一般口演)

9:20~10:20 座長 樋口雅仁(動物整形外科病院)

- | | |
|-----------------------------------------|----------------------|
| I-1 小型犬の両側前十字靭帯弛緩症の1治療例 | 磯江 源太郎(こば獣医科クリニック) |
| I-2 外傷性多発骨折を呈した若齢猫1例 | 池田 繁生(池田動物診療所) |
| I-3 術後に破綻・成長板骨折を起こした大腿骨頸部骨折2症例からの固定法の考察 | 福井 健人(ケントペットクリニック) |
| I-4 股関節全置換術を実施した大腿骨頭すべり症の猫の一例 | 井上 賀之(宮崎大学農学部附属動物病院) |

10:20~11:20 座長 伊東輝夫(青葉動物病院)

- | | |
|--------------------------------------------|---------------------|
| I-5 多指に形成されパピローマウイルスの関連が疑われた爪床悪性上皮性腫瘍の猫の1例 | 島袋 泰治(砂輝動物病院) |
| I-6 腹腔内に発生した悪性の巨大衝突腫瘍に対して外科的切除を行った犬の1例 | 吉田 浩崇(大津どうぶつ医療センター) |
| I-7 アキレス腱断裂の小型犬3例 | 鍛冶 伸光(かじ動物クリニック) |
| I-8 手根関節屈曲拘縮の猫の一例 | 中里 泰(さくら動物クリニック) |

11:20~11:50 座長 長井 新(鳥城ペットクリニック)

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| I-9 片側椎弓切除術と部分椎体切除により減圧とソフィアテックロッキングシステムにて椎体固定を行い
良好な経過を辿っている外傷性椎体骨折の猫の一例 | 田邊 優(中部動物病院 Chubu Vet) |
| I-10 FIP治療後にV-Pシャント術が必要となった猫の一例 | 杉山 慶樹(海の中道動物病院) |

11:50~12:20 座長 藤本晋輔(大津どうぶつ医療センター)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| I-11 両側性腎周囲嚢胞に対して腹腔鏡下皮膜切除を行った猫の一例 | 中武 佑樹(宮崎大学農学部附属動物病院) |
| I-12 尿道静脈瘤に対し順行性尿道バルーン拡張術にて治療した猫の1例 | 小島 貴文(AMC末松どうぶつ病院) |

第2会場

午前の部（一般口演）

9:20～10:20 座長 遠藤泰之（鹿児島大学）

- | | | |
|------|-----------------------------------------|---------------------|
| II-1 | フルファリン中毒の犬と猫の2例 | 酒井 秀夫（諫早ペットクリニック） |
| II-2 | バベシア症、セルトリ細胞腫、免疫介在性貧血が併発し、重度の貧血を呈した犬の1例 | 山内 光（宮崎大学農学部付属動物病院） |
| II-3 | AAアミロイドーシスを合併した猫の難治性口内炎の1症例 | 常安 麻知江（わたなべ動物病院） |
| II-4 | 眼球内腫瘍と四肢麻痺を呈し全身にリンパ種が播種した猫の1例 | 嶺井 大輝（琉球動物医療センター） |

10:20～10:50 座長 永延 清和（宮崎大学）

- | | | |
|------|-----------------------------------|---------------------|
| II-5 | 変性硝子体による瞳孔ブロックを発症した水晶体後方脱臼の犬の1例 | 池田 健一郎（ケーアイ動物クリニック） |
| II-6 | 眼底出血を伴う網膜新生血管に対してレーザー凝固を行った犬の1治験例 | 吉野 信秀（大分小動物病院） |

10:50～11:20 座長 金子泰之（宮崎大学）

- | | | |
|------|-------------------------------------|--------------------|
| II-7 | 肝外PSS手術後の結紮後発作症候群を認めた犬1例のMRI画像所見の検討 | 濱崎美波（大津どうぶつ医療センター） |
| II-8 | 去勢手術後に精巣腫瘍が発生した犬の1例 | 猿渡忠相（島原アニマルケアセンター） |

11:20～12:20 座長 平川 篤（ペットクリニックハレルヤ）

- | | | |
|-------|---------------------------------------------|------------------|
| II-9 | 心原性肺水腫の初発時に人工呼吸管理を要した犬10例の予後に関する検討 | 藁戸由樹（高橋ペットクリニック） |
| II-10 | 心嚢水貯留を伴う心基底部腫瘍に対してリン酸トセラニブにより長期管理が可能であった犬4例 | 馬場敬志（ハートウィル動物病院） |

11:50～12:05 座長 樋口翔太（D.V.D.S.）

- | | | |
|-------|---------------|----------------|
| II-11 | 演題 歯科矯正した犬の1例 | 武藤 寿法（みやき動物病院） |
|-------|---------------|----------------|

12:05～12:20 座長 武藤 寿法（みやき動物病院）

- | | | |
|-------|-------------------------|----------------|
| II-12 | 演題 鼻腔内に迷入した微細な残根を除去した1例 | 樋口翔太（D.V.D.S.） |
|-------|-------------------------|----------------|

6. 参加申し込み方法（申し込み期限延長しました～6月23日（日））

卒後研修会申込担当：やえせ動物クリニック 新垣 啓 連絡先：yaeseac@gmail.com

下記のQRコードより必要事項を入力し、申し込みを行ってください。

要旨集はPDF配布のみといたします。開催前日までに登録されたメールアドレスへURL、PW等をお送りしますので各自でダウンロードをお願いします。

演題および参加申し込みは右のQRコードor下記のURLより可能です。→



https://docs.google.com/forms/d/1xaAYHKZP6_hv4PveMfF9X8CGTz2r124ctaNzfCTOJiA/edit?ts=6606194c

7. 参加料（支払いは当日受付にて、現金のみ）

- 獣医師: 3,000円
- 愛玩動物看護師：無料（企業ブースにて動物看護師向けの小セミナーも準備しております）
- 発表者: 無料
- お弁当: 1,000円（希望者のみ）

8. ドレスコードについて

初夏の沖縄で快適にお過ごしいただけるよう、ドレスコードは『リゾートカジュアル』可とします。襟付きシャツ、長ズボンを原則と致します。

沖縄県内ではクールビズの観点から、『かりゆしウェア』が官公庁をはじめ一般企業でも夏の正装として定着しています。この機会にかりゆしウェアを取り入れてみませんか？オンラインショップを展開しているメーカーをいくつかご紹介します。

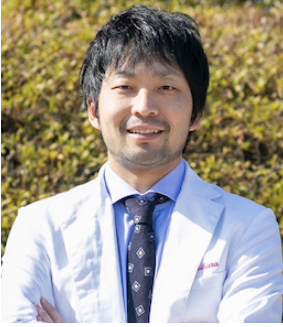
・MAJUN・マンゴハウス・サンエー・イオン琉球

リゾートカジュアルのイメージ図



9.教育講演の講師略歴

栗原 学 先生



米国獣医画像診断専門医。2012年 麻布大学（獣医放射線学研究室所属）卒業。国内の動物病院で4年間の勤務医を経て、2016年よりニュージーランドのマッセイ大学画像診断科プロジェクトアシスタントに就き、翌年から2018年まで画像診断科インターン。同年に一般社団法人LIVESを立ち上げ、理事に就任するとともに画像診断科を担当する。2020年よりアメリカのタフツ大学獣医画像診断科レジデント。2023年 米国獣医画像診断専門医。2023年 Animal Imaging Service 代表。2024年～ ノースカロライナ州立大学画像診断科助教授 予定。

森田 肇 先生



日本小動物医療センター夜間救急診療科科長。2012年酪農学園大学卒業。埼玉県内動物病院に5年間勤務。その後、公益財団法人日本小動物医療センター消化器科、および動物夜間救急診療センター（現夜間救急診療科）に勤務、2020年より夜間救急診療科科長。現在は救急診療の普及のため講演や執筆など積極的に取り組んでいる。